



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2023年08月07日 第1129号「週刊五十嵐レポート」

価格競争から逃げるには

8月4日付日経新聞、「中国で紙おむつ生産終了」という記事。花王は3日、中国で紙おむつ生産を終了したと発表。花王は09年に中国で紙おむつの販売を開始、12年に現地生産を始めた。通気性や肌触りの良さが消費者に支持されたが、中国企業の製品が向上し、販売が苦戦。中国の紙おむつ市場は成長する一方、花王だけでなく日本企業の苦戦が目立つ。中国ブランドのシェアは17年は2割程度だったが21年には6割近く上昇。

8月5日付日経新聞、「中国発Temu、米国で勢い」という記事。中国発のインターネット通販企業が海外展開を拡大。PDDホールディングスは低価格戦略を武器に欧米など約30カ国に進出。商品が届くまで10～14日かかるが、価格の安さによるメリットが配送の不便を上回る。早さより安さでアマゾンを追いかける。

今更ながら中国は大量生産・低価格戦略はお家芸。過去現在、日本企業の多くはこれに巻き込まれた。16年イタリア企業視察をした時、イタリアの中小企業は、過去は日本企業、現在は中国企業に低価格で攻勢をかけられたが、高価格帯に移行して難を逃れたというコメントが多かった。

8月5日付日経新聞、「ユニ・チャーム、9%増益」という記事。中国の売上高は現地通貨ベースで5%伸びた。3日には花王が中国での紙おむつ生産の停止を発表したが、ユニ・チャームはすでに現地生産を低価格帯から高価格帯へシフトしている。収益面での成果が着実に現れている。現地生産を続ける考え。

8月5日付日経新聞、「農林水産品の輸出額、上期最高」という記事。23年1～6月の農林水産物・食品の輸出額は前年同期比9.6%増の7144億円、上期の過去最高を更新。中国・香港で約40%を占め、品目上位はホタテ、ウイスキー、清涼飲料水、牛肉等(原発処理水で今後は不透明)。日本の良質なモノは価格が高くて中華圏・アジア圏で支持されている。これらの事例から、小さな会社は価格競争に巻き込まれる低価格帯ではなく、高付加価値・高価格帯を追求し続けなければ、未来を厳しい。(日本の大企業も苦戦しているのだから)

ちょっと
気になる出来事

私の友人が4月の統一地方選挙(各市区町村の議員)の応援(ボランティア)をした。東京の某区、2期目を目指す某氏。某氏は海外勤務経験者で知識人。友人の話では、ランチェスター戦略の弱者の戦略で当選したと。

通常の議員候補者は、駅前に立って、ビラを配ったり、街頭演説をする。そして選挙カーで朝晩大きな音を出して「名前」を連呼する。

多くの候補者はそれらを行っている。友人は疑問を感じていた。不特定多数に行くことは、はたして我々には良策なのだろうか。

選挙前に「テーマ」を何に絞るか決めた。多くの候補者が行う「テーマ」である「福祉」「子育て支援」等々を避けて、「教育」にした。それも世界標準を訴え、今後の未来の日本(リーダーシップ、エリート育成)。

客層は中間層より上の層。生活に困らない層。地域はそれらの人達が住む地域を重点に一軒一軒チラシを手渡し。バイトを使わず、候補者と支援者のみで選挙期間(一週間)実行した(他の地域での活動を捨てた)。一点集中、接近戦、一騎打ち戦。徐々に輪が広がり、2期目の当選となった。

友人曰く、「五十嵐さんのお陰で、ランチェスター戦略が染みついている」。



一口メモ
知識

助けを求めて吉

馬に乗りて班如(はんじょ)たり。婚媾(こんこう)を求めて往けば、吉(きつ)にして利(よ)ろしからざるなし。

何とかしなければと馬に乗ったものの、自らの力不足を知って、地位が下の英傑(えいけつ)に助けを求めるのは吉である。

これは新しい物事の始め、また新たな改革を行う時は新しい知識や方法が必要であることを教えている。

「班如(はんじょ)」とは引き返すこと。「婚媾(こんこう)」は婚姻を意味するが、ここでは下位の人に助けを乞うという意味。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

